

サビエル生誕五百年



巡礼の道

238

藤屋 侃士  
(下松市幸ヶ丘)

### 上五島あれこれ

#### 上五島・長崎巡礼②

今回で上五島シリーズはひとまず終わりとし、次に長崎シリーズへ入るため、先日、四日間、長崎市内を旅した。

内とは全く異なる。上五島にはぜひもう一度足を運び、その時再び五島列島について書きたいと考えている。さて、大相撲は八百長問題で今、揺れに揺れているが、第五十代



横綱佐田の山の出身地、有川



龍馬ゆかりの地（？） 上五島

田の山の土俵入りの像がある。

私が社会人になったのは昭和三十七年、当時、佐田の山は大関で、三年後の四十年に横綱になった。その時は昭和の大横綱、大鵬の全盛時代であり、佐田の山は大鵬と合口が悪かったということだけが印象に残っている。

に地元の人に頼んだとある。

願わくは「信仰のふるさと」としても活気を取り戻してほしいと思いつつ、上五島巡礼記を終える。（元山口放送取締役ラジオ局長）

調べてみるとその通りで、大鵬に対しては五勝二十七敗。その結果、佐田の山の優勝回数六回に対し、大鵬は三十二回。しかし佐田の山は協会の理事長にもなり、とにかく地元有川での人気は大変だ

つたようだ。ターミナルの中にある「鯨賓館ミュージアム」にも佐田の山のコーナーがあり、愛用した「下がり」などが展示してあった。有川は商業捕鯨が禁止されるまでは、鯨のまちとして栄えたところだが、佐田の山はその有川の偉大な英雄であったことが展示物から伝わってくる。

「地」とは多少オーバーな気もする。商業捕鯨の禁止で、漁業が元気を失ったとはいえ、やはり上五島は漁業の島である。

り、新上五島町の一部となった若松島の民宿・えび屋に泊まったが、伊勢えび料理をはじめ新鮮な海の幸には満足した。十年ばかり前に下五島・福江島を訪れた時より「観光」で活路を開こうという意気込みが感じられる。

ことを今回初めて知った。佐世保からのフェリーが着く有川港、ターミナル入り口に左

もう一人、ポスターなどで紹介されていたのは「坂本龍馬」である。NHKテレビの大河ドラマの影響だろう、土産品にも坂本龍馬という名前が目立つ。

若松大橋で陸続きと

上五島はやはり漁業の島

